

## 「見えづらい」は危険なサイン 白内障・緑内障とは

健康エクスプレス No. 43

自分ではなかなか気付きにくいのですが、進行すると失明の危機に到る目の病気があります。特に、中高年から増加する目の病気として白内障・緑内障があります。今回は白内障・緑内障について取り上げます。

### 目のかすみ、二重に見えませんか？ 白内障とは

#### (1) 加齢による目の障害 白内障

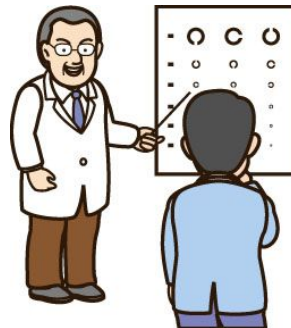
人の目の中で、カメラのレンズにあたる部分を水晶体と呼びます。白内障とは、文字通りこの水晶体が白濁する病気です。昔から俗に「しろそこひ」と呼ばれていた病気です。この疾患は中高年以降の方々に多く、最も多い原因は加齢で、老化現象の一つと考えられています。白内障になった水晶体では濁りが始まると、白濁は消えることはなく徐々に進行します。併せて、視力も徐々に低下します。

#### (2) こんな症状に注意

白内障が進行すると、細かい文字が読みにくい、目がかすむ、まぶしい、などの症状が現れます。しかし、年月をかけてゆっくり進行するので初期の症状に私たちは気付かず、病気は進行してしまうのです。また、白内障と同時に下記で説明する緑内障も出現することがありますので、早期の対応が大切です。

#### (3) 白内障の検査と治療は

白内障の検査としては視力検査のほか、細隙灯（さいげきとう）顕微鏡検査を行います。治療方法を決める際には、さらに眼底検査や眼圧検査などを行います。白内障は点眼薬で進行を遅らせることができる場合もありますが、残念ながら点眼薬で完治させることはできません。白内障が進行して日常生活に支障がある場合には、手術が行われます。手術は濁った水晶体を取り除き、眼内レンズを埋め込む方法が一般的に行われます。健康保険が適用になる手術です。紫外線が白内障の原因となる場合があるので、紫外線の強い時期はサングラスを用いて、目を保護することが大切です。



### 失明の危機もある 緑内障とは

#### (1) 気付かずにいると怖い緑内障

緑内障とは、何らかの原因で視神経が障害され、視野が狭くなる病気です。眼球は目の中を循環する液体（房水）によりほぼ一定の圧力が眼内に発生し、形状が保たれています。この圧力のことを眼圧と呼びます。網膜に映った映像は視神経により脳に伝わります。しかし、眼圧が上昇し、視神経が障害を受けると情報が脳に伝わらず、視野が狭くなってしまいます。これが緑内障の代表的な原因です。

ところが、眼圧は正常と診断される範囲にありながら、視神経障害がおこる緑内障（正常眼圧緑内障）も存在します。この原因や発症のメカニズムはまだ正確に解明されていません。ただし、欧米人と比較して日本人の場合は、このタイプの緑内障の割合が高いという調査結果があります。

緑内障は、日本での失明原因の上位となっていますが、緑内障の症状に気付かずに、治療していない方が多くいます。

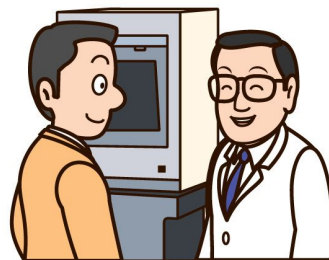
#### (2) 緑内障の症状は

緑内障は視野が狭くなる症状が最も一般的です。初期は視野障害があっても全く自覚しないことがほとんどです。また、症状の進行は緩やかな場合が多いため、かなり進行するまで症状に気付かないことがあります。緑内障の視野障害が進行した場合は、視力も低下し、場合によっては失明することがあります。

#### (3) 緑内障の検査と治療は

緑内障の検査としては眼圧検査、隅角検査、眼底検査、視野検査を行います。視神経は一度、障害を受けると、回復することはありません。したがって、早期発見が大切です。

緑内障の治療方法としては、A.薬物療法 B.レーザー治療 C.手術があります。Aは主に点眼薬を用いますが、内服薬もあります。全ての緑内障に対して同じ治療効果があるわけではなく、緑内障のタイプやそれぞれの人に適した治療方針を決定していくことが重要です。一部を除き、緑内障の検査・治療は健康保険の適用となります。



《皆様の安心と安全のプレイントラスト（専門顧問グループ）》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当：八城一浩

〒107-0052 東京都港区赤坂3-1-2 TEL 03-3582-4511